

国際スポーツ競技大会「第11回ワールドゲームズ」に ライフセービング日本代表10名が出場！ SANYO東京本社にて選手団の壮行会を開催！

株式会社三洋物産と株式会社三洋販売は、2006年より協賛しているライフセービング日本代表の「第11回ワールドゲームズ」出場にあたり、大会での日本代表の活躍を期して、株式会社三洋販売東京本社（東京都中央区）にて7月6日に壮行会を実施いたしました。

今大会は、7月7日から17日までの11日間、アメリカ合衆国アラバマ州バーミングハム市で開催されます。公式30競技、公開5競技が実施され、過去最多となる110の国・地域から3,600名もの世界最高峰のトップアスリートが集結し、233種目でメダルを競います。

ライフセービング日本代表は男女5名ずつ、計10名が参加を予定しています。前回大会では「障害物リレー男子」において世界新記録を樹立（当時）し、金メダル獲得という好成績をおさめました。今大会でもメダル獲得に期待がかかります。

海やプールなど水辺の事故を防ぐために監視や指導、おぼれた人の救助など、日頃より「海の安全を守る」活動を行っているライフセービング日本代表の活躍をぜひともご期待ください。

なお、競技結果については後日おしらせいたします。



“もうひとつのスポーツの祭典、もうひとつの熱戦の舞台”

「ワールドゲームズ」は、オリンピックに採用されていない競技種目の国際総合競技大会です。4年に一度、夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の翌年に開催されます。

【大会公式ウェブサイト】 <https://www.theworldgames.org/>

【日本ワールドゲームズ協会】 <https://www.jwga.jp/>

【Olympic Channel（オリンピックチャンネル）】 <https://olympics.com/de/olympic-channel>

* 大会期間中の各競技のハイライトは「Olympic Channel」で視聴可能の予定です。

【ライフセービング日本代表選手団】

スタッフ

監督：植木 将人（ウエキ マサト）
コーチ：坂本 陸（サカモト リク）
トレーナー：細川 英範（ホソカワ ヒデノリ）
スポーツ栄養士：松本 恵（マツモト メグミ）
アシスタントマネージャー：大山 玲奈（オオヤマ レイナ）
審判員：栗栖 清浩（クリス キヨヒロ）



女子選手

名須川 紗綾（ナスカワ サアヤ） / 茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ *
伊藤 若菜（イトウ ワカナ） / 和田浦ライフセービングクラブ
平井 葉子（ヒライ ハコ） / 九十九里ライフセービングクラブ、日本大学サーフライフセービングクラブ
八木 愛海（ヤギ マナミ） / 鴨川ライフセービングクラブ
山岸 夢（ヤマギシ ノゾミ） / 鹿嶋ライフガードチーム

男子選手

平野 修也（ヒラノ ナオヤ） / 山形ライフセービングクラブ *
安藤 秀（アンドウ スグル） / Vikings
板場 貴大（イタバ タカヒロ） / 横浜海の公園ライフセービングクラブ、早稲田ライフセービングクラブ
高須 快晴（タカス ヨシハル） / 鹿嶋ライフガードチーム
西山 俊（ニシヤマ シュン） / 湯河原ライフセービングクラブ

*はキャプテン

【日本ライフセービング協会公式サイト内特設ページ】

<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/lifesaving-sports/jla-high-performance-program/twg2022/>

当社は、ライフセービング日本代表のオフィシャルゴールドパートナーです。

2006年より国内唯一の国際大会「三洋物産 インターナショナル ライフセービングカップ」（三洋カップ）を開催しています。日本代表選手の強化を目的に、海外の強豪国を日本に招聘して開催している大会で、ライフセービング大国であるオーストラリア、ニュージーランドをはじめ、南アフリカやイギリス、アメリカなどの強豪国、そしてアジアの各国地域が参加して、毎回ハイレベルなレースが繰り広げられています。

ライフセーバーである選手は、スポーツとしての勝利を得るためのみならず、守るべき命のために日々過酷なトレーニングを行っています。日本代表選手の育成は、技術のある救助者を育てることに繋がり、水辺の事故ゼロへの道筋を作っているといえます。

【ライフセービング日本代表応援プロジェクト】 <https://www.sanyobussan.co.jp/csr/lifesavingcup/>